9．おわりに

JRにとっては，在来線での標準軌は初めてであり，平成４年７月に予定されている山形新幹線開業により，その成果が問われることとなる。順調な輸送をささえるべく，新造車両のトレース，400系を考慮したメンテナンス体制の確立が急務となる。

この新在システムが成功すれば，これからの新幹線整備計画に大きく影響し，ローカル輸送との共存が図れることとなる。車両としては，特殊な技術ではないが，その存在価値が大きい719系5000番代であることを述べて，当車両の紹介とする。

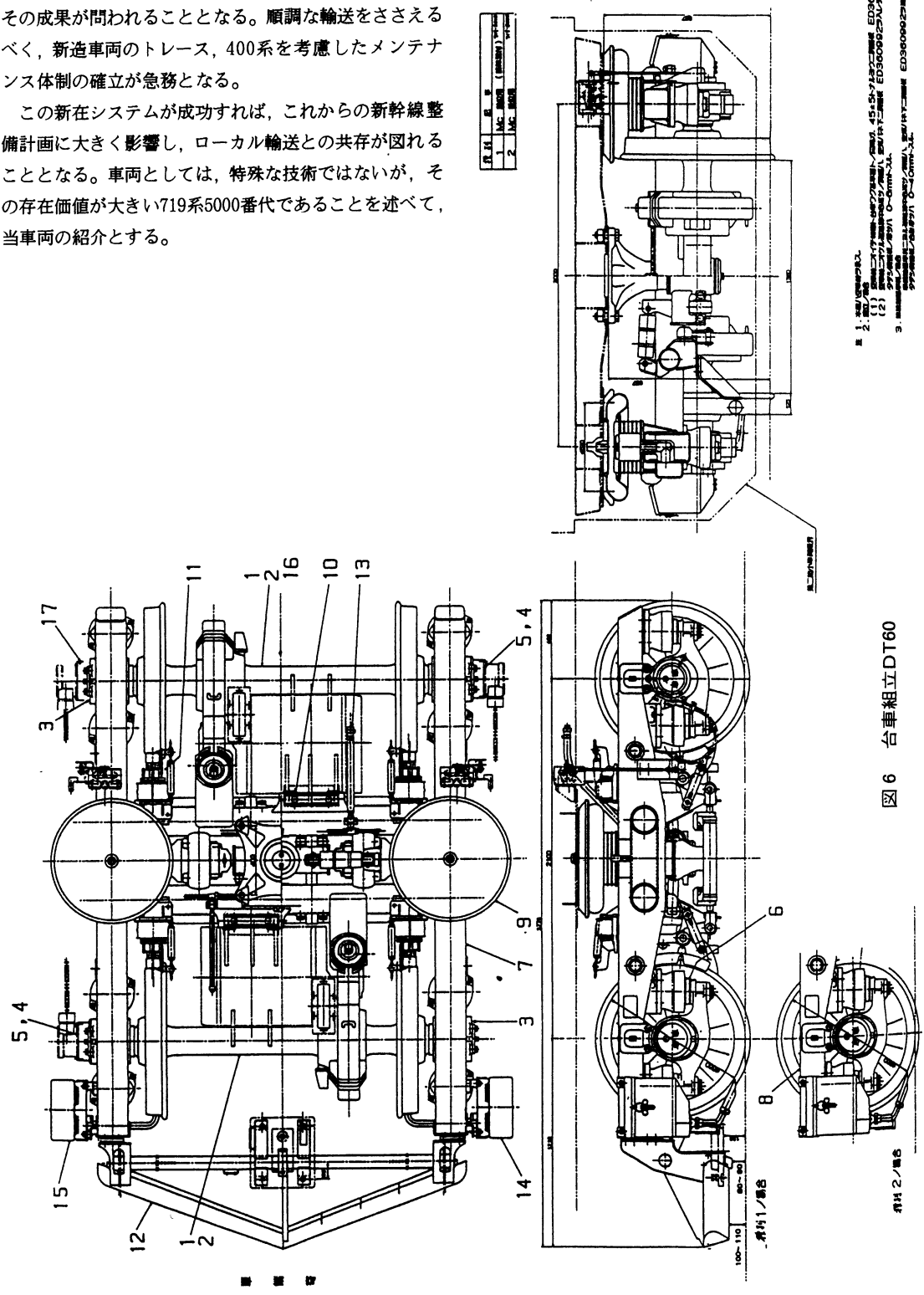

図６　台車組立DT60